

京都品質工学研究会のご案内

品質工学とは、将来起こるかもしれないトラブルを未然に防いで、製品が引き起こす様々な損失を最小化することを目的とする、汎用性の高い技術方法論です。安定した設計・製造技術を効率よく開発する手法として、様々な技術分野や開発プロセスで活用され大きな成果をあげています。

ここでは、京都品質工学研究会の会員募集案内、品質工学セミナーの案内及び平成27年1月30日に開催しました「平成26年度品質工学セミナー」についてご紹介します。

京都品質工学研究会の会員を募集しています!

京都品質工学研究会では、品質工学を活用した開発業務の革新・効率化を目指す企業が集まり、品質工学を用いた開発スキルの相互学習、実際の開発課題への適用についてディスカッションを重ねています。平成27年度は初心者向け教育の充実と、研究事例のフォローアップや個別課題相談など実践支援の強化に注力していく予定です。

初心者の方も参加しやすい研究会です。技術開発・製品開発の改善・効率化、技術人材育成を目指す方々のご参加をお待ちしております。

〈京都品質工学研究会 平成27年度活動計画〉

- 活動内容 ①定例会(毎月第2金曜日の午後 12月のみ第3金曜日)
 ②基礎学習会(6月29日(月)10~17時、新規会員・初心者向け。代理参加可能。)
 ③講師による個別課題相談(各定例会開催日の午前)

講師 各定例会に外部講師をお招きします。(コニカミノルタ(株) 芝野広志氏、(有)アイテックインターナショナル 中野恵司氏を予定)

年会費 法人会員 1社2名まで40,000円(追加1名につき15,000円) 個人会員 1名 20,000円。

平成27年度 品質工学セミナー(第1回)のご案内

経営に携わる組織のリーダーの方を対象にした講義を行います。今後、品質工学を経営戦略に取り入れるための土台作りには是非ご参加ください。

内容「経営課題解決のためのタグチメソッド」

講師 (有)アイテックインターナショナル 中野恵司氏 対象 企業の技術・品質部門管理者、技術者
 日時 平成27年5月8日(金) 13時30分~16時30分 参加費 無料
 場所 京都府産業支援センター 5階研修室

平成26年度品質工学セミナー(平成27年1月30日開催)の報告

「技術者の役割と責任~時間の壁を乗り越えるものづくり設計とは~」

品質工学会 名誉会員、関西品質工学研究会 顧問 原和彦氏

技術者の姿勢としては、開発の生産性を高めること、また原因を追及するのではなく原因をなくすようにする、つまり科学的思考から技術的な思考に切り替えて考えることが重要であることをご解説いただきました。戦略的技術開発のためには、先行性・汎用性・再現性の高い評価技術の確率がまず必要であることを強調されました。

品質工学でのパラメータ設計は失敗するためにあるものなので早い段階でどんどん失敗してほしい、そしてよりよいものを開発してほしいと、品質工学の利点をご説明いただきました。



「IHIにおける品質工学の推進について」

株式会社IHI 航空宇宙事業部 品質システム部 小木曾元一氏

株式会社IHIの紹介と品質工学推進の歴史から人材の育成について説明いただきました。

IHIでの品質工学推進は約20年前からであり、現在QE教育は集中講義と実践、研究といった内容で行われており、研究成果を社内でポスター展示や口頭発表されています。また、品質工学に関して、部下に的確なアドバイスが出来るように管理職の方々も品質工学の講座を受講され、統一した体制で臨まれている状況をご紹介いただきました。

「イメージ・パラメータ設計によるはんだ付け工程改善の検討」

株式会社IHI 航空宇宙事業部 技術開発センター 太場大輔氏

イメージ・パラメータ設計(IHI社内での通称で、頭の中で実施するもの)は、低コスト、数値化・明文化されたデータでなくてもできる、評価者の頭の中の見える化などのメリットがあるとして考えられたものであり、はんだ付けを事例としてご紹介いただきました。

参加者からは、イメージ・パラメータ設計に関するいろいろな意見が寄せられ、活発な議論が行われました。

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 基盤技術課 TEL:075-315-8633 FAX:075-315-9497 E-mail:qe@mtc.pref.kyoto.lg.jp